

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括表

事業名	うるぎの桜まもり隊事業
事業主体 (連絡先)	売木村 (0260-28-2311)
事業区分	(5)環境保全、景観形成
事業タイプ	ソフト
総事業費	481,761円(うち支援金:480,000円)

事業内容

No.1 第1回講習会

平成19年10月10日(水)

19:30~21:10

於・役場会議室

講師2名

受講者23名



No.2 第2回講習会

平成19年10月30日(火)

9:00~12:10

受講者26名

於・河川公園(元下り沢)



No. 3 第3回講習会

平成 20 年 3 月 30 日(日)

9:00~15:00

受講者 19 名

於・村内各地

土壌改良、枯枝除去、

【正平桜】



No. 4 同上

土壌改良

【大入】



No. 5 高所作業委託

【観音堂】



自己評価(事業実施率) 【 A 】

事業効果

【目標・ねらい】

- (1) 樹勢の回復により、春の観桜期の景観が向上され、桜愛好家の来訪増が図れる。
- (2) 保護技術の習得により、本年対象外の桜の保護も今後期待される。
- (3) 保護技術の習得により、桜以外の保護にも関心が広がり、景観木を中心とした樹木保全の活動が期待できる。
- (4) 本事業参加者を村内外を問わず広く参加を促すことにより、地域間交流が図れる。

【事業実施後目標に対しての効果】

- (1) 樹勢の回復等については1年以上の経過が必要であるので、現段階では判断できない。しかしながら、枯枝の除去等の施業により、枝間の隙間が多くなり、見栄えが良く、開花時の景観が良好となることが容易に予想される。
- (2) 保護技術の習得により、参加者個人所有の桜の保護に意欲がわいている。
- (3) 河川公園にて実施した実技講習会では、公園内に植生された桜以外の樹木に対しても講師による助言や指導がなされ、意欲的に手入れをして技術の習得を図っていた。
- (4) Iターン者、別荘住民のべ7名参加し、地域間交流が図られた。

自己評価(事業実施率) 【 A 】

今後の取り組み

- (1) 今回対策を施した桜に対して、新芽の大きさ、枝の伸張長、葉の大きさ等を定点観測し、これを公表し、手入れや保護の大切さを住民に伝える。
- (2) 次年度以降、予算の範囲内でさらに資材を購入し、桜の保護を行おうとする者に対して支援をする。
- (3) 今回の受講者を起点として、桜をはじめとした樹木を保護する団体を育成し、村の財産となりうる銘木の保護に取り組む。
- (4) これらの取り組みを広く内外に知らせ、地域住民だけの取り組みだけにせず、都市住民と共同で取り組めるよう努める。